



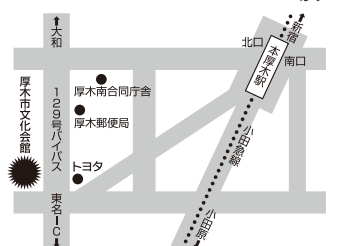
劇団扉座
第80回公演

【新宿公演】

2025年12月9日(火)・14日(日)
新宿東口 紀伊國屋ホール

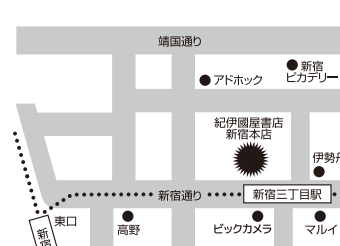
【厚木公演】

厚木市文化会館リニアオープン記念事業／厚木市制70周年記念事業
厚木シアタープロジェクトネクスストレープ第12回公演
2025年11月29日(土)・30日(日)
厚木市文化会館 小ホール



厚木市文化会館 小ホール TEL.046-225-2588
〒243-0032 神奈川県厚木市恩名1-9-20
◎小田急小田原線「本厚木駅」下車徒歩13分

※未就学のお子様は
ご入場いただけません。
※車椅子席をご利用の方は
厚木市文化会館、
又は扉座までお申込みください。



新宿東口 紀伊國屋ホール TEL.03-3354-0141
〒160-0022 東京都新宿区新宿3-17-7
紀伊國屋書店新宿本店4F
◎JR線・小田急線・京王線・地下鉄丸ノ内線
「新宿駅」東口より徒歩5分
◎地下鉄丸ノ内線・副都心線・都営新宿線
「新宿三丁目駅」B7出口

※未就学のお子様はご入場いただけません。
※車椅子席をご利用のお客様は
事前にご連絡ください。



	11/29 (土)	30 (日)	12/9 (火)	10 (水)	11 (木)	12 (金)	13 (土)	14 (日)
13:00					★		★	
14:00		★		★		★		★
18:00	★				★		★	
18:30			★				★	

※開場は開演の30分前、受付開始は開演の1時間前です。

幻冬舎
Presents

つか版・忠臣蔵
2025

チケット発売日
厚木市文化会館取扱【厚木公演】
10月25日(土) 10:00
扉座取扱【厚木・東京公演】
10月25日(土) 12:00
ドアクラブ先行発売
10月26日(日) 12:00
一般前売発売

料金(全席指定・税込)

【厚木公演】
前売・当日共 5000円
学生券(25歳以下の学生) 2000円
(厚木市文化会館・扉座でのみ取り扱い／
当日学生証持参)

【新宿公演】
前売 6000円 当日 6500円
学生券(25歳以下の学生) 2000円
(扉座でのみ取り扱い・当日学生証持参)
●ミナクルステージ(12月9日(火) 18:30の回)
前売・当日共 4000円
学生券(25歳以下の学生) 2000円
(扉座でのみ取り扱い／当日学生証持参)

チケット取り扱い
【厚木公演・東京公演共】
劇団扉座 03-3221-0530
(平日12:00～17:00／前売開始日以外の土・日・祝休／
新宿公演中平日12:00～15:00／10月10日～12日休)
扉座オンラインチケット
https://tobiraza.co.jp/online_tickets

【厚木公演】
※発売初日は電話、webのみ受付
※窓口販売(残席がある場合)は10/26(日)より行います。
厚木市文化会館チケット予約センター 046-224-9999
(10:00～17:00／休館日を除く)
窓口(9:00～17:00／毎週火曜、祝日の翌日休)
ウェブ予約 <https://p-ticket.jp/atsugi-bunka>

【東京公演】
キノチケットカウンター
(店頭販売 10:00～18:30 新宿東口紀伊國屋書店新宿本店1F)
キノチケットオンライン <https://store.kinokuniya.co.jp/ticket/>

この忠臣蔵を観て、見城さんは「応援するよ」とすぐにご連絡下さり、今に続く『幻冬舎プレゼンツ』シリーズがスタートした。以来都内マニションを軽く購入出来るような厚いご支援を賜った。そしてそのご支援はすべてカタチの残らぬ芝居として儚く消え去った。しかしカタチはなくとも、生涯輝き続ける至高の宝が我々の胸に残されていることは申し上げるまでもあるまい。

私も岡森も三千代も有馬も伴も、そして山本享も、つかさんの享年を既に超え、つかスタイルの全力疾走をこのキャストでやるのはきつトラストだろう。

私たちの秘宝を今、御開帳する。



野田翔太



松原海児



新原 武



上原健太



累央



犬飼淳治



有馬自由



岡森 諦



藤田直美



伴 美奈子



中原三千代



守 敦也



土岐倫太郎



彌永拓志



翁長志樹



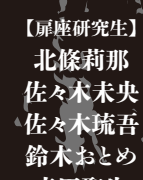
小川 蓮



友部康志



山本 亨



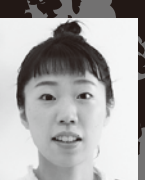
北村由海



佐々木このみ



菊地 歩



小笠原 彩



砂田桃子



厚木市文化会館
チケット予約センター



キノチケットカウンター

制作◎赤星明光・田中 信也
(公財)厚木市文化振興財団(厚木公演)
宣伝美術◎吉野修平(ヨシノデザインオフィス)
宣伝イラスト◎溝口イタル
題字◎小林三左衛門 寛
制作◎赤星明光・田中 信也
(公財)厚木市文化振興財団(厚木公演)
WEB宣伝◎串間保彦・大川亜耶
要券◎そのだささる 菊地恵未
製作◎(公財)厚木市文化振興財団(厚木公演)
(有)扉座

10月26日(日)正午12:00より受付
専用フォームでのお申し込み制
(チケット取り扱いの扉座欄をご参照ください)
※先着順＝定員となり次第、締切となります。
◆12月11日(木)18:00公演のみ、
学生に限り無料招待(25歳以下の学生)
◆大学・専門学校生可
◆公演当日要学生証
(小学生は年齢を証明できるもの保険証など)
◆1度のお申し込みで学生5名様まで
(5名以上の場合は複数回お申し込みください)

学生注目!

学生限定無料公演
【無謀ナイト】開催!!

『つか版・忠臣蔵』2012年初演の際、幻冬舎・見城徹社長の「この芝居をもっと多くの人に観て貰いたい、特に若者に観せたい」という一言から生まれた学生限定無料公演【無謀ナイト】。
まだ演劇を観るチャンスやお金がないという
若者のための無料ステージです。
この舞台が、若者たちの心に刺さり、
未来を拓く無謀の火種となることを心から願います。

胸のうちの秘宝

横内謙介

あなたは
奇跡の舞台の
目撃者になる

株式会社幻冬舎
代表取締役社長
見城 徹

いよいよ幻冬舎Presents・扉座「つか版・忠臣蔵」である。13年前に横内謙介に呼ばれて観劇した、すみだパークスタジオの「つか版・忠臣蔵」に衝撃を受けた。そこには、観るものを熱狂のるつぽに引き込んだ、1970年代のつかこうへいの舞台が見事に再現されていた。

涙と笑いと感動と興奮で、劇場が揺れていたあの頃。高校生だった横内謙介が、通い詰めた紀伊國屋ホール。僕が編集者としてつかこうへいと全力で走り抜けた、あの奇跡の時間。

あまりにもつかこうへいに影響されすぎて、つかこうへいの演劇作法から離れ、独自の演劇世界を創り上げた横内謙介が酔狂に試みた、つかこうへいの全盛期を再現した舞台。新鮮だった。あの時の涙と笑いと感動と興奮が、そこにはあった。

自分のオリジナリティを確立した横内謙介があえて挑んだその舞台を、僕はどうしても継続したいと横内謙介にスポンサードを申し込んだ。

今の若者たちに、過ぎ去ったあの時間と空間を共有してほしい。

そのようにして、幻冬舎Presents・扉座の舞台は一年半に一回のペースで、つかこうへいの演劇の聖地・紀伊國屋ホールで上演され続けた。

「つか版・忠臣蔵」、「郵便屋さんちよっと」、「無謀漫遊記」、「二代目はクリスチャン」。そして今回は、「つか版・忠臣蔵」に戻る。

僕が製作総指揮を務めた、映画「栄光のバックホーム」が11月28日から全国250館で公開される。この二年間、僕は、この映画に熱狂して来た。

そして、12月9日からは新宿紀伊國屋ホールで、僕がもう一つ熱狂して来た舞台の幕が開く。

命懸けの映画と舞台。僕の熱狂は、あなたたちの全身の細胞に届くだろうか?

観てくれれば解る。演劇とは、こんなにも衝撃的に心を震わせるものなのだ。

横内謙介は、わずか五年間だったつかこうへいの全盛期に同化し、更にそれを食い破って、オリジナルな横内謙介の世界に突き抜けている。

あなたの人生は、新宿紀伊國屋ホールで今まで体験したことのない舞台と同化することになる。二度と同じものはない役者たちの渾身のライブ。

舞台はこんなにも素晴らしい。舞台上と観客席の命と命が激しく交錯した奇跡の二時間。この世在らざる世界。

そうだ。これが幻冬舎Presentsだ!